

目次

国際比較の中の「神道」と「国家」

【シンポジウム】

発題①	フランスのライシテにおける分離と管理の両義性上智大学外国語学部フランス語学科准教授	伊達聖伸氏.....6
発題②	現代タイの政教関係——国家による教団支援・統制と国民道徳教育——駒澤大学総合教育研究部教授	矢野秀武氏.....19
発題③	「現代化」過程の神道と国家國學院大學神道文化学部准教授	菅浩二氏.....36
コメント皇學館大学現代日本社会学部教授	新田均氏.....51

【研究発表】

〈第一部会〉

『皇太神宮儀式帳』における二月太玉串行事……………新田 佳恵子……………83

伊勢神宮神職の増員について……………古谷 易士……………84

中世における斎王制度の展開……………落合 敦子……………86

伊勢御師の地域での活動実態について——北埼玉郡の事例——……………八幡 崇経……………88

神宮奉斎会の成立過程とその変化……………武田 幸也……………91

現代の「神宮・皇室・国家」についての一考察——未来への視座を含めて——……………東郷 茂彦……………93

〈第二部会〉

美保神社諸手船神事に関する一考察……………竹内 雅之……………98

特殊神饌における多膳様式とその特徴について……………吉野 亨……………100

寛克彦「神ながらの道」の理解と先行研究における問題点の指摘……………中道 豪一……………103

岡田米夫と神体山——普通名詞「神体山」の成立過程——……………山田 浩之……………106

神体林の制度的変遷……………河村 忠伸……………108

吉川惟足の八雲神詠……………徳橋 達典……………111

臼井雅胤と『神祇破偽頭真問答』……………山口 剛史……………114

井上正鐵の野澤鐵教宛書簡……………荻原 稔……………117

明治六年、新聞にみる大教院と高木真蔭 秋元信英 119

〈第三部会〉

戦前期末日聖徒イエス・キリスト教会の布教と他キリスト教会との関係について 杉内寛幸 122

新宗教における教育機関の機能 — 明治後期の金光教の事例 — 藤井麻央 125

渋谷の怪談と都市の変化 古山美佳 127

脱地域化に伴う「口寄せ」の変容 大道晴香 130

「元祖女みこし」の現状にみる参加者の実態と神田祭の変化 秋野淳一 133

慰霊碑は語る — パラオ地域における戦死者慰霊の展開と慰霊碑 中山郁 136

神体化する御幣 — 黒川能のオウギサマについて — 水谷類 138

社頭からみた現代参拝者の心理 勝田勇 140

不安を解消する宗教文化の構造と展開 — 謝罪・修行・禊祓の社会的意味 — 平野孝國 142

〈第四部会〉

御體御卜の成立過程についての一考察 — 同儀式の占いの構造に再検討を加えて — 廣木健太郎 145

中世祇園社の仏事 — 一切経会を中心に — 松本昌子 148

中世伊豆国一宮三嶋社の在庁に関して 吉永博彰 150

石清水・賀茂臨時祭再興に関する一考察 岡本和真 153

【パネル発表】

神道と自然災害 — 神社に遺された自然災害伝承からみる — 代表藤本頼生 157

企画主旨

神社由緒と災害伝承をめぐる研究の課題と展望 藤本頼生 159

東日本大震災津波浸水域神社の災害伝承 半田竜介 160

東南海地震被災想定域の神社と災害伝承 高野裕基 161

福島県南相馬市の神社における災害の記憶継承と地域再生の祈り 黒崎浩行 162

コメント 笹生衛 163